

## ＼ここかま／

# 人と地域がつながるプラットフォームかまくら

- ✓ ここ鎌倉のまちでつながる
- ✓ コドクとコリツを考える

(鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム)

### 幹事団体

鎌倉市社会福祉協議会・鎌倉市市民活動センター運営会議・きしろ社会事業会・鎌倉市（事務局）

自らが望む形で人・地域・社会とつながり  
誰も孤立することなく  
安心して自分らしく暮らすことのできる  
共生社会の実現を目指す

プラットフォーム運営を通じ、地域課題に向き合う者同士が互いの意見を取り入れ、  
鎌倉市において、**孤独・孤立対策**につながる共生の取組を主体的に共創する環境と仕組みをつくる

プラットフォーム  
役割

人と地域がつながるプラットフォームかまくら（ここかま）では、

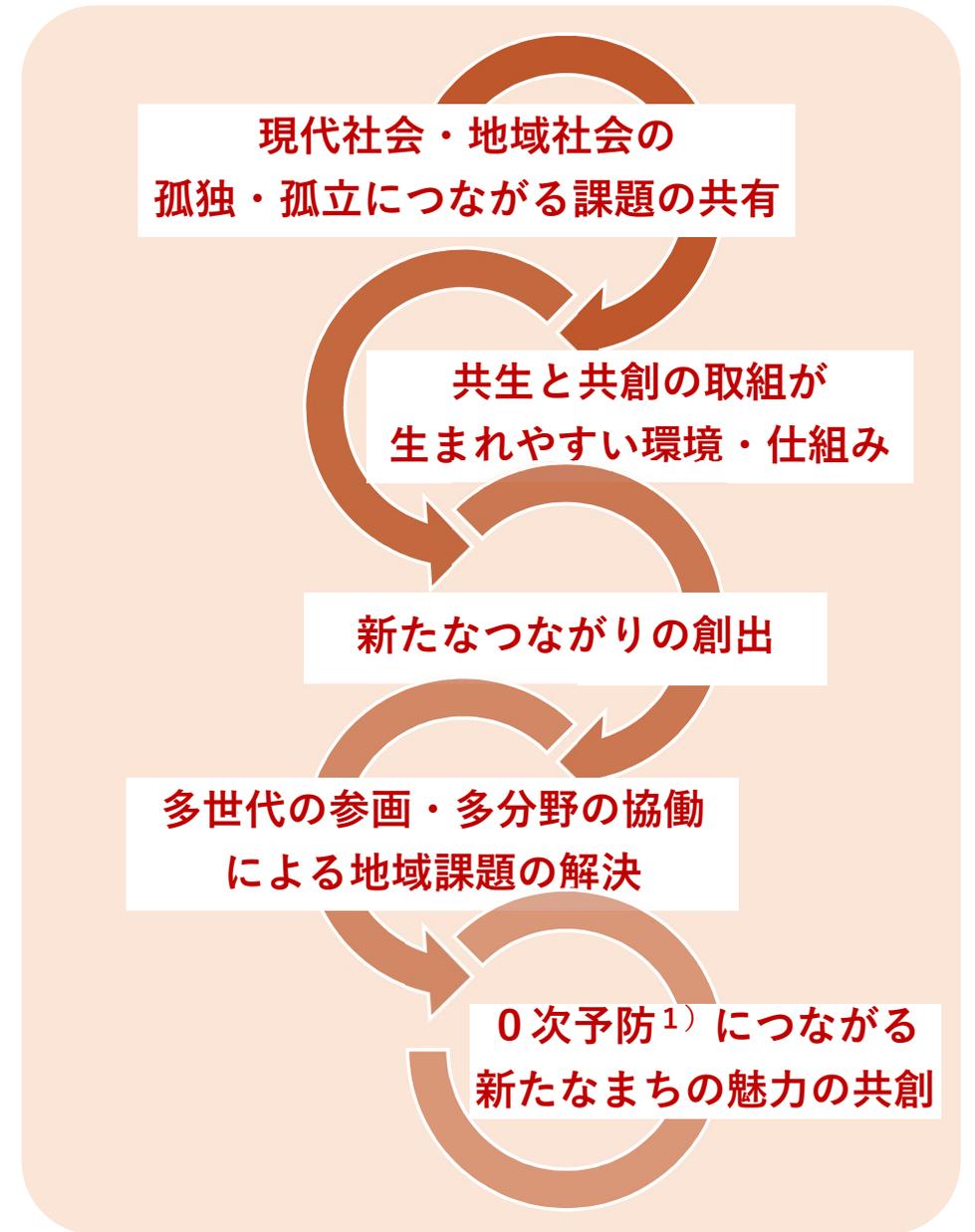
市民・地域・中間支援機能を担う  
団体・事業者・行政が

地域において共生と共創の取組が  
生まれやすい環境と仕組みを

・ ・ ・

ここかまくらで、

ともにつくってまいります



プラットフォーム  
ロードマップ

Phase 1 プラットフォームの組成・体制構築

市内現況把握

概要と取組内容の検討

(準備会の立ち上げ)

2023.2

(準備会の運営)

PF 誕生

2024.4

(プラットフォームの安定的運営へ)

Phase 2 プラットフォームの拡大・体制強化

ビジョンの共有と地域づくりへの展開

Phase 3

誰も孤立することのない  
共生社会の実現へ

# プラットフォーム ロードマップ

2022

2023

2024

## Phase 1

### プラットフォームの組成・体制構築

- 準備会の立ち上げ（幹事4者）
- 孤独・孤立の現状把握・対策や地域コミュニティ像の検討（0次予防<sup>1)</sup>の認識共有）

- ✓ 既存ネットワークを効率的・有機的にリンクさせるプラットフォームが良い
- ✓ 30代～40代の世代は福祉制度の狭間にあり、子育てについての孤独感・孤立感を有する傾向が見られる
- ✓ 学校・職場以外のサードプレイスが必要
- ✓ 福祉に特化せずとも、市民活動の中には、活動の枠組みに孤独・孤立対策が内包されている取組もある
- ✓ 市民活動相談の場がインフォーマルな福祉相談窓口としても機能し始めている
- ✓ 孤独感を否定せず、本人が必要だと感じたときに緩やかにつながれる環境を周囲で整えたい
- ✓ 0次予防<sup>1)</sup>として、社会や人と繋がる環境・場を広く作る取組が必要

## Phase 2

### プラットフォームの拡大・体制強化

- 地域コミュニティ像やPFの役割の共有
- 参加団体の強みの抽出
- 福祉や市民活動の文脈を超えた広報展開・参加の呼びかけ・参加メリットの検討
- 人と地域のつながりや資源の循環の仕組み化と見える化
- 情報発信ツールの整備
- 運営体制の強化

## Phase 3

### 誰も孤立することのない共生社会へ

- 孤独・孤立対策の必要性の理解の広がり
- 自らが望む形で人や地域や社会とつながりを持つことのできる環境の構築
- 人づくり・地域づくりのさらなる展開に向けた関係組織の強化・資源調達の仕組み化

1) 0次予防：病気・症状を引き起こす原因やリスクファクターを個々人が自覚して取り除く1次予防と並行して、発症やリスクファクターにつながる社会的、経済的、文化的な環境要因に着目し、それらを改善することで集団における病気の発生自体を大きく減らそうという考え方。WHOが2006年に発行した『WHOの標準疫学 第2版』の中で「primordial prevention」に言及し、日本語版で「ゼロ次予防」と訳された。無意識のうちに健康に望ましい行動を取れたり、健康につながる環境に身を置いたりする社会的、経済的、文化的な環境づくりを進めるもの。（出典：日経BP, <https://project.nikkeibp.co.jp/behealth/atcl/keyword/19/00076/>）

孤独・孤立対策  
のイメージ



アルバイト先の食品ロスを、  
プラットフォームで話題に  
なったことも食堂で活かせ  
ないかな？



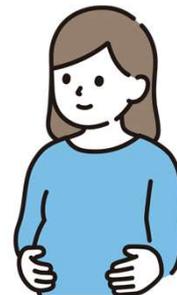
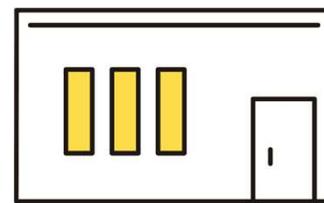
庭の野菜を、  
プラットフォームで誰かに  
使ってもらえないかな？



空き家があるから、みんな  
で料理して食べる会をする  
のはどう…？



勉強したり、おしゃべりしたり、  
交流したりできる地域の  
居場所をみんなにつくれない  
かな？プラットフォームで相  
談してみよう



### ひきこもりの居場所「うみ風のみち」



- ひきこもりの方やその家族が、落ち着いて安心して過ごせる居場所、本を読んだり、おしゃべりしたり。
- 趣旨に賛同した社会福祉法人から、所有する元民家の活用提案を受け、家庭的な雰囲気の場が誕生した。
- 看板も利用者とスタッフで手作りし、みんなで心地よい空間を作っている。

### 乗りあい車

お買い物  
病院  
習い事位か

気軽に誰でも乗れる  
**乗りあい車**

鎌倉 ①緑蔭台地区 ②天田地区 ③瑞泉寺地区 ④江ノ電地区

10月から始まった乗りあい車の運行を継続します！お散歩やお買い物などに誰でも気軽にご利用できます。

運行日  
毎週 火曜日・金曜日  
13:40～16:15  
\*祝日も運行  
—便増えました！—

さしうさんのご協力のもと、鎌倉会、天田、瑞泉寺、江ノ電地区と鎌倉会を繋いで運行します。ご都合のあう時間に「乗りたいエリア」までお待ちください！所要時間は30分ほど。(運賃無料) ※乗り降り、ご自身でお願います

乗り合いポイント、時刻は裏面をご覧ください！

町内会(二階堂親和会)、民生委員、地域に福祉施設を有する社会福祉法人が協力し、交通不便地域において、施設の送迎バスを活用し、利用者の送迎時間以外で「地域の乗り合いバス」を運行している。

買い物・通院・習い事などに気軽に利用可能。週2日運行。無料。移動手段の確保により、町内会全体の孤独・孤立の解消につながっている。

### 鎌倉海藻ポーク



福祉事業所(障害・高齢)や市民ボランティアが、漁協と協力の上、海岸の活用されていない海藻を拾い、粉碎・袋詰めしている。それを飼料として育った「鎌倉海藻ポーク」は、現在、市内レストランや給食で供されている。

### ゴミフェス532 (ゴミニティ)



「コミュニティの力でごみ問題を楽しく解決!」を合言葉に、「サステナ学校プロジェクト」「キエーロ部」「プロギング」など様々な部活動を展開中。鎌倉の海岸、海中、市街地のごみ拾いを定期的で開催している。「ごみ拾って、実は、人見知りな方でも来てくれやすいイベントなんですよね」